

ライフサイエンス機器分析室ニュース No.104

**施設登録および費用振替についてのお知らせ**

標記、生命科学機器分析部(ライフサイエンス機器分析室)の登録、費用の支払いにつきましてご連絡申し上げます。当施設では機器の利用に対して、機器ごとに使用料を設けていますが、その支払い方法につきまして、運営費交付金に加えて、**寄附金および外部資金での支払いが可能となりました**のでご連絡申し上げます。なお、**対象となるのは使用料を定めているすべての機器です**。

以下の予算費目にて当施設機器の使用料の支払いが可能です

- ①運営費交付金(教育研究基盤経費(旧基盤研究費(校費))、研究費/病院研究、附属施設研究経費など)
- ②寄附金
- ③外部資金(科学研究費・受託研究費・共同研究費など)
- ④その他の補助金

なお、以下 2 点はあらかじめご注意ください。

\* 科学研究費補助金での支払いは、開始月から 12 月 31 日使用分までを対象とします。

\* 受託研究費・共同研究費・その他補助金の場合、機器使用料の支払いが可能か契約の相手方・資金交付元に確認をお願いします。また、受託研究費・共同研究費・その他の補助金については、研究終了月の前々月使用分までを対象とします。(例:研究終了月が 3 月の場合、1 月使用分まで)

これに伴い、施設登録用紙の書式が変わりましたので、次項に添付させていただきます。なお、3 月 29 日付の News100 でお知らせしましたように、昨年度まで機器ごとに設けていた「登録料」につきましては、本年度は廃止となっております。ご検討のほど、よろしく願いいたします。

ご不明な点などございましたら、以下の問合せ先にご連絡ください。

<問い合わせ先>

自然科学研究支援開発センター

生命科学機器分析部 (ライフサイエンス機器分析室)

霞総合研究棟 107 号室

担 当: 世羅 毅

内 線: 6877 (082-257-1599)

e-mail: [acols@hiroshima-u.ac.jp](mailto:acols@hiroshima-u.ac.jp)

HP: <http://home.hiroshima-u.ac.jp/acols/>

追記:本施設を少しでもご利用いただき作成された論文には、「謝辞」に当施設利用の旨を記していただきたいと存じます(謝辞例文 This work was carried out at the Analysis Center of Life Science, Hiroshima University.) さらに実績として役立たせていただくため、別冊 1 部(コピーでも可)を本施設にご提供いただければ幸いです。

## 「平成 22 年度 生命科学機器分析部(ライフサイエンス機器分析室)・利用登録申請書」記入上の注意

### <「平成 22 年度 生命科学機器分析部(ライフサイエンス機器分析室)・利用登録申請書」の記入について>

#### 1. 「利用者情報記入」

- ・当施設の利用を希望される方の情報をご記入いただき、利用機器をご選択ください。当施設から利用者への連絡は主にメールによって行いますので、可能な限りメールアドレスをご記入ください。
- ・DNA シークエンス、GeneChip、FACSAria につきましては、依頼測定を行っております。FACSAria は講習会受講者に限り装置利用も可能です(講習会受講を希望される方は別途お問い合わせください)。料金等の詳細は <http://home.hiroshima-u.ac.jp/acols/> をご覧いただくか、施設にお問い合わせください。
- ・リアルタイム PCR・7900HT、FACSCalibur、共焦点レーザー顕微鏡、インキュベーション付き共焦点レーザー顕微鏡につきましては、初めてのご利用にあたって、施設担当者による説明を受けることとなっております。必ず事前にお問い合わせください。

#### 2. 「振替方法等記入」

- ・「利用者情報記入」で利用申請いただいた方の使用料の振替方法をご指定ください。
- ・登録機器については、運営費交付金、寄附金及び外部資金(科学研究費補助金・受託研究費・共同研究費など)での使用も対象とします。
- ・振替に使用する予算の指定を利用登録申請書の使用料振替方法等記入の項目にご記入ください。  
<なお、以下 2 点にご注意ください。>
  - \* 科学研究費補助金での支払いは、開始月から 12 月 31 日使用分までを対象とします。
  - \* 受託研究費・共同研究費・その他補助金の場合、機器使用料の支払いが可能な契約の相手方・資金交付元に確認をお願いします。  
また、受託研究費・共同研究費・その他の補助金については、研究終了月の前々月使用分までを対象とします。(例:研究終了月が 3 月の場合、1 月使用分まで)

- ・経費責任者欄には、ご指定いただいた予算枠をお持ちの先生のお名前をご記入・捺印ください。
- ・外部資金での機器使用の場合は、研究題目、研究期間及び使用目的をご記載ください。
- ・会計事務担当者欄には、研究室内で振替方法についての問い合わせにご返答いただける方をご記入ください(研究室内の事務担当者等)。また、会計事務担当者宛にメールで振替に関する情報を配信いたしますので、必ずメールアドレスをご記入ください。

### <登録に際しての注意>

施設利用に際しては、施設の入退室のためのキャンパスカード(白地に緑のカード)が必要です。このカードをお持ちでない方は、本登録申請書とは別にキャンパスカード発行申請書の提出が必要です。担当部署(霞キャンパス内の各学科事務室、霞総合研究棟・総合案内)または当施設にお問い合わせください。

### <その他経費に関する注意事項>

平成 22 年度は料金の大幅な改定を行いました。それにより、これまで設定していた「登録料」の料金体系は廃止することとなりました。

### <提出先・問い合わせ先>

自然科学研究支援開発センター生命科学機器分析部(ライフサイエンス機器分析室)

霞総合研究棟 107 号室 担当:世羅

内線:6877(082-257-1599)

e-mail:[acols@hiroshima-u.ac.jp](mailto:acols@hiroshima-u.ac.jp)

URL:<http://home.hiroshima-u.ac.jp/acols/>

平成 22 年度 生命科学機器分析部（ライフサイエンス機器分析室）・利用登録申請書

1) 利用者情報記入

利用人名	職員番号/ 学生番号	メールアドレス	TEL	登録機器（申請を希望する機器に○をつけてください）																																										
				新規導入機器								9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K					
				1 タンパク核酸自動分離装置 QIAcube	2 バイオアナライザー	3 超微量分光光度計・ナノドロップ	4 リアルタイム PCR・ABI7900HT	5 培養器具一式(114号室と213号室)	6 化学発光検出用イメージャー・VersaDoc	7 自動磁気細胞分離装置・MACS	8 インキュベーター付き共焦点レーザー顕微鏡	DNAシークエンサー	DNA自動分離装置	蛍光プレートリーダー	イメージングアナライザー	ゲル撮影装置	紫外可視分光光度計	リアルタイム PCR・OPTICON	PCRシステム	Gene Chip	質量分析装置	液体クロマトグラフ	FACS Calibur	FACS Aria	ハイパフォーマンス遠心分離機	遺伝子導入装置	振盪培養器	電子顕微鏡	共焦点レーザー顕微鏡	超遠心機	FCM 解析ソフト/顕微鏡画像解析ソフト	顕微鏡画像ファイリングシステム	レーザーマイクロダイセクション	カルシウムイオン測定装置	核酸電気泳動装置	超純水装置	薬用保冷庫	オートクレーブ	クリーンベンチ	遠心機						
ふりがな氏名	ふりがな氏名	ふりがな氏名	ふりがな氏名	ふりがな氏名	ふりがな氏名	ふりがな氏名	ふりがな氏名	新規導入機器	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27																			

2) 振替方法等記入

研究室等名				
経費責任者	氏名	印	内線： e-mail：	
振替方法	予算費目（選択ください）		経理単位	
	①運営費交付金（ <u>教育研究基盤経費、研究費/病院研究、附属施設研究経費</u> ）		経理単位コード（ ） 経理単位名称（ ）	
	②寄附金			予算科目コード（ ）
	③外部資金（ <u>科学研究費・受託研究費・共同研究費</u> ）			予算科目名称（ ）
④その他の補助金（ ）				
研究題目（外部資金の場合）				
研究期間（外部資金の場合）	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日			
使用目的（外部資金の場合）				
会計事務担当者*	ふりがな氏名	内線：	e-mail：	

- \* 科学研究費補助金での支払いは、開始月から12月31日使用分までを対象とします。
- \* 受託研究費・共同研究費・その他補助金の場合、機器使用料の支払いが可能か契約の相手方・資金交付元に確認をお願いします。  
また、受託研究費・共同研究費・その他の補助金については、研究終了月の前々月使用分までを対象とします。（例：研究終了月が3月の場合1月使用分まで）
- \* 会計事務担当者には、貴研究室内で費用振替に関する問い合わせにご返答いただける方をご記入ください（研究室内の事務担当者等）。  
また、担当者様に施設から連絡をとることがありますので、必ず連絡の取れる方をご指名ください。